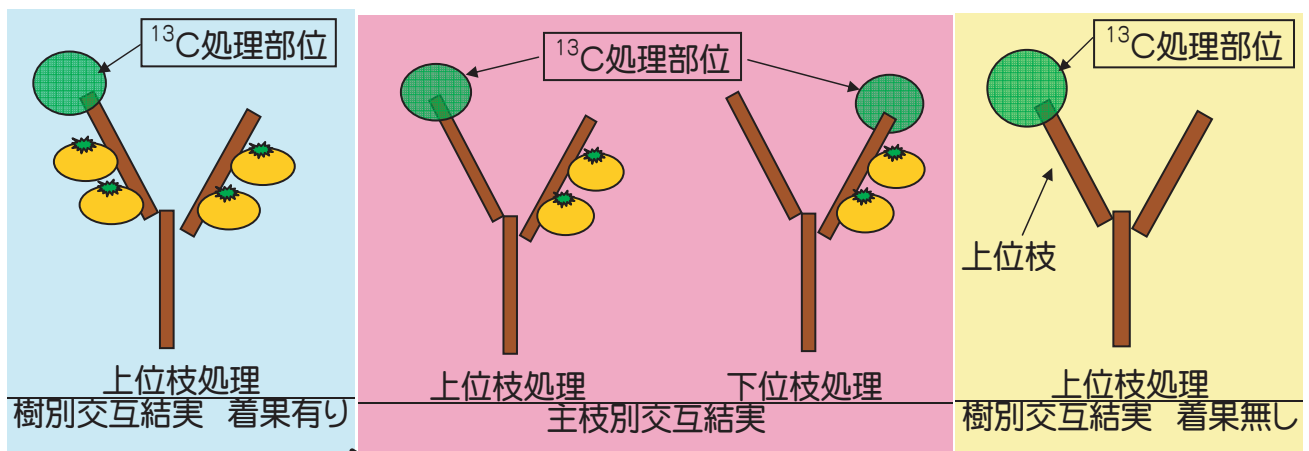


カンキツ「はるみ」の葉でできた養分の流れ

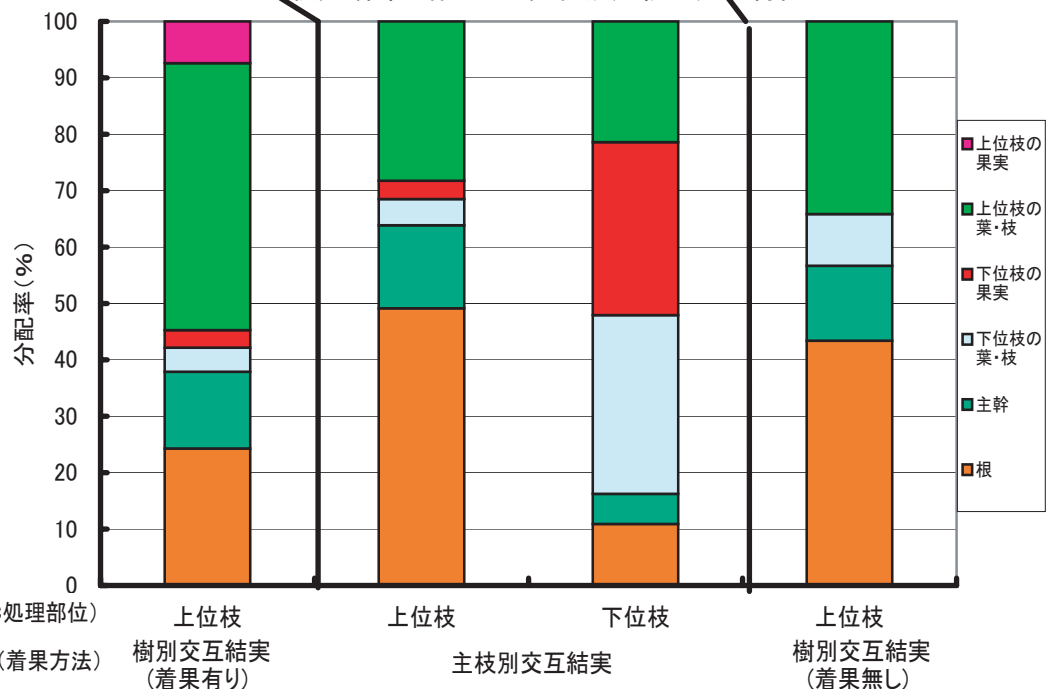
カンキツ「はるみ」の枝の先端部でできた光合成産物の分配は、着果方法の違いによって異なります。また、着果負担があると、根への分配が少なくなり、隔年結果の一要因と考えられます。

●光合成産物の分配をみるための処理方法



●光合成産物の分配の特性

主枝先端部で作られた光合成産物の分配特性



○両側の枝に着果させる結実法(樹別交互結実着果有り)では、処理した枝の枝葉や果実へ分配される傾向が強まります。

○片方の枝にのみ着果させる結実法(主枝別交互結実)では、着果している枝の先端部でできた光合成産物は果実へ多く、根へは少なく分配されます。

○着果していない樹(樹別交互結実着果無し)では、バランス良く分配され、特に根への分配が多くなる傾向にあります。